

1 研修事業名	平成 30 年度 “非正規” 職員向け研修
2 事業目的・ねらい	<p>非常勤の方は福祉職場の重要なケアの担い手として、なくてはならない存在であり、同時に一職員としてモチベーションの維持向上と、利用者のいのち・くらしを守るという責務の両方を意識することが求められている。</p> <p>そこで利用者とのより良いコミュニケーションをつくる上で大切なことなどを振り返りつつ、あらためて福祉の仕事の特徴や専門性を確認し、仕事に自信と誇りを持ち、利用者から期待される援助のプロとして成長することを目的に標記研修を開催する。</p>
3 到達目標	<p>研修を通じて、福祉職に求められる資質・知識・技術を学び、支援者としての成長目標を考えることができる。</p>
4 対象者	県内の福祉職場で働く非常勤職員の方

5 科目名	対人援助に必要なコミュニケーション
6 講義担当者名	諏訪 茂樹（東京女子医科大学 准教授）
7 講義の日程	平成 30 年 11 月 22 日（木曜日）10 時から 12 時 30 分まで
8 時間数	2 時間 30 分
9 講義の方法	講義、演習等
10 科目のねらい	対人援助職の特徴を理解し、より良い支援をするための利用者とのコミュニケーションについて学ぶ
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションとは何か ・ 指導と援助の違い ・ コミュニケーション技法のロールプレイ ・ ケーススタディ
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 事前課題等(レポート)	なし
14 使用機材	

1 研修事業名	平成 30 年度 “非正規” 職員向け研修
2 事業目的・ねらい	<p>非常勤の方は福祉職場の重要なケアの担い手として、なくてはならない存在であり、同時に一職員としてモチベーションの維持向上と、利用者のいのち・くらしを守るという責務の両方を意識することが求められている。</p> <p>そこで利用者とのより良いコミュニケーションをつくる上で大切なことなどを振り返りつつ、あらためて福祉の仕事の特徴や専門性を確認し、仕事に自信と誇りを持ち、利用者から期待される援助のプロとして成長することを目的に標記研修を開催する。</p>
3 到達目標	<p>研修を通じて、福祉職に求められる資質・知識・技術を学び、支援者としての成長目標を考えることができる。</p>
4 対象者	県内の福祉職場で働く非常勤職員の方

5 科目名	援助のプロとなるために～働くうえで大切にしたいこと
6 講義担当者名	鈴木 敏彦（和泉短期大学 教授）
7 講義の日程	平成 30 年 11 月 22 日（木曜日）13 時 30 分から 16 時 30 分まで
8 時間数	3 時間
9 講義の方法	講義、演習等
10 科目のねらい	福祉職の特徴や専門性を理解し、援助のプロとして成長するために必要な自己研鑽について考える
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の仕事の特徴、専門性とは何か ・福祉職としての自分の役割、大切にしたいこと ・利用者主体の支援をしていくために
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 事前課題等(レポート)	なし
14 使用機材	パソコン・プロジェクター